

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	国民保護対策事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	危機管理部	課等名	防災交通課		包含する細々目	1	9	1	5	20		250
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり											
施策	41 災害対策の推進											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	関連計画 条例等	飯田市国民保護計画						
		事業期間	18	年度～		年度						

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	市内在住者	飯田市の人口(人) (H18.10.1推計人口)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする
			107844	107000		
	市域面積	市域面積	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		最終目標達成年度
			658.76	658.76		
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
市内在住者が安全に避難ができる	災害に備えている割合(%)	18目標	40	最終目標	60	
		18実績		19目標		↑
		23目標	60	23実績		最終目標達成年度
		18目標		最終目標		
		18実績		19目標		↑
		23目標		23実績		最終目標達成年度

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	武力攻撃事態等が発生した時、その被害を最小化するための計画を策定し、必要に応じ訓練等を行う。 ・飯田市国民保護計画の作成・見直し ・避難マニュアルの作成・見直し ・飯田市国民保護計画資料編の作成・見直し ・J-ALERTを防災行政無線に接続 ・飯田市保護計画に基づく訓練の実施	飯田市国民保護協議会委員会・幹事会の開催 国民保護計画策定	飯田市国民保護協議会 委員会 幹事会	3回 2回
	18年度の実績			
	19年度計画	飯田市国民保護協議会委員会・幹事会の開催 飯田市国民保護計画に基づく訓練 「広報いいだ」でJ-ALERT放送内容周知の広報	回数 回数 回数	1回 1回 1回

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
	一般財源	1,126	250
	事業費計(A)	1,126	250
人件費	正規職員所要時間	18年度 600	19年度 300
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	2,146	1,073
	トータルコストA+B	3,272	1,323

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	市民、市内滞在者、財産の被害の軽減	市民が災害に備えている割合	現状値	40.1	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	60
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

<p>この事業を開始したきっかけ</p> <p>「武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律(国民保護法)」が平成16年9月に施行されたことにより地方公共団体でも武力攻撃等から国民の生命、身体及び財産を保護し、国民生活等に及ぼす影響を最小にするための態勢の整備をすることとなった。</p>	<p>事業を取り巻く状況の変化</p> <p>平成17年中に全都道府県が国民保護計画を策定し、平成18年度中には、多くの市町村が国民保護計画を策定した。</p>	<p>事業に対する市民や議会の意見</p> <p>飯田市国民保護計画策定の際、保護計画は必要であるとの意見と市民の権利に対する配慮あるいは保護計画策定そのものが市民の権利侵害になるとの意見があった。</p>
--	---	--

【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	<p>この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 結びつく (その理由)</p> <p>いままで、武力攻撃等に対する対処について計画がなかったが、市としての計画ができた。</p>	有効性 評価	<p>成果をさらに向上させる余地はありますか？</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 余地がある (その理由)</p> <p>訓練等を重ね、計画をより実践的にする必要がある。</p>
	<p>対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 必要性がない (その理由)</p> <p>飯田市居住者はもちろん在勤、在学、観光等で市内にいる人すべてが対象である。</p>		<p>廃止・休止した場合の影響はありますか？</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 影響あり (その理由)</p> <p>万一の武力災害発生に対応する計画がないと効果的な対応ができない。</p>
	<p>意図の見直しの必要性はありますか？</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 必要性がない (その理由)</p>		<p>他に類似事業はありますか？また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 関連事業あり (類似事業名、理由)</p> <p>地域防災計画がある。計画そのものは、法律により規定されているので、統廃合はできないが、訓練や運用では、統合的な運用は可能である。</p>
	<p>市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)？</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 必要ある (その理由)</p> <p>法律により市の責務とされている。市域全体に責任を持つ団体は他にない。</p>		<p>効率性 評価</p> <p>成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 可能 (その理由)</p> <p>訓練や備蓄品等は、地域防災計画と統合した運用が可能。</p>
			公平性 評価	<p>受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 妥当である (受益者とその理由)</p> <p>市内にいる人全員が受益者である。</p>

【Plan】改革改善

<p>今後の事業の方向性</p> <p><input type="checkbox"/> 終了</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止</p> <p><input type="checkbox"/> 休止</p> <p><input type="checkbox"/> 目的見直し</p> <p><input type="checkbox"/> 別事業に統合</p> <p><input type="checkbox"/> 事業のやり方改善</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>実施年度 <input type="text"/></p> <p>具 体 化</p> <p>上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法</p>	<p>何を、いつまでにどうするのかの改革改善案</p>
---	-----------------------------

【補足事項環境側面】

<p>(1) 環境影響評価の必要性判断</p>	<p><input type="checkbox"/> 必要性がない</p>	<p>(2) 必要性な場合の実施事由</p>
<p>(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？</p>		

【指摘事項】

<p>施策マネジメント会議</p>	
<p>施策評価会議</p>	
<p>第5次基本構想基本計画推進委員会</p>	